

2026年度 第1学期 客員教授等ゼミナール予定表

(2026年3月27日現在)

情報の追加や変更は、その都度、掲示および奈良学習センターウェブサイトにて掲載しますので、必ずご確認をお願いします。(こちらの掲載は、月初めからの基本曜日順とさせていただきます。)

中澤 静男 (客員教授) 教育学 (ESD、SDGs) 第2水曜日 10:30~12:00 Z308講義室 (持参すべきもの: なし)	
内容紹介: 現在、国連を中心に世界全体でSDGs (持続可能な開発目標) の達成に取り組まれています。SDGsはなぜ必要なのでしょうか? 環境面、社会面、国際面から世界の現状や原因を解説し、奈良発の観光×SDGsの取組を紹介します。受講者の皆さんにSDGs達成に協力しようという意欲をもっていただければと思います。 アピール: 奈良には歴史文化遺産がたくさんあり、しかも多くは現役です。古いものが残っている理由をSDGs的に探ることで、奈良の魅力を再発見でき、よさを実感していただけたと思っています。	
4月8日 (水)	SDGs (持続可能な開発目標) に親しむ
5月13日 (水)	SDGs (持続可能な開発目標) とESD (持続可能な開発のための教育)
6月10日 (水)	防災・減災 地震・津波、水害のメカニズム
7月8日 (水)	気候変動と森林環境の現状
8月19日 (水)	ネイチャーポジティブ (生物多様性の保全・回復) を進める *第2水曜日は閉所日のため第3水曜日に変更
9月16日 (水)	国際協調路線の崩壊・平和教育 *講師の都合により第3水曜日に変更

市来 百合子 (客員教授) 臨床心理学 《集中講座》 木曜日 9:30~14:40 Z308講義室 (内容紹介、持参すべきもの等は、ゼミ1ヶ月前に掲示予定) ※事前申込要 (開催1週間前まで)	
8月6日 (木)	「学校における現代的教育臨床の課題と支援」
	1限目: 9:30 ~ 11:00
	2限目: 11:10 ~ 12:40
	3限目: 13:10 ~ 14:40
9月3日 (木)	「心理臨床における非言語的アプローチ」
	1限目: 9:30 ~ 11:00
	2限目: 11:10 ~ 12:40
	3限目: 13:10 ~ 14:40

野村 鮎子 (所長) 中国文学、中国女性/ジェンダー史 第1金曜日 10:30~12:00 Z308講義室 (持参すべきもの: できれば漢和辞典、無でも可)	
内容紹介: 近年の気候変動で、将来日本から四季がなくなるのではと囁かれています。しかし、草花は季節を決して忘れませんし、人のこころの動きも季節の変化と無関係ではありません。この授業では、日本人が慣れ親しんできた四季を詠じた漢詩を丁寧に読み、ゼミの参加者みんなで味わいます。 アピール: 文芸の世界に浸ることが目的ですので、漢詩や漢文が苦手という方でも大歓迎です。漢和辞典があれば持参いただくと理解が深まりますが、なくてもかまいません。	
4月3日 (金)	漢詩で楽しむ四季1-春の詩
5月1日 (金)	漢詩で楽しむ四季2-初夏の詩
6月5日 (金)	漢詩で楽しむ四季3-梅雨の詩
7月3日 (金)	漢詩で楽しむ四季4-盛夏の詩
8月7日 (金)	なし
9月4日 (金)	漢詩で楽しむ四季5-秋の詩

鈴木 則子 (客員教授) 日本史学

第2金曜日 10:30~12:00 Z308講義室 (持参すべきもの: なし)

内容紹介: 江戸時代から近代(敗戦まで)を対象に、私たちの身体、病気に関する様々な資料を通じて生活の歴史を見ていきます。具体的には江戸時代の視覚障害者の職業団体である瞽女、座頭、そして江戸時代の人々にとって致死病となった代表的な感染症をとりあげていきます。

アピール: 江戸時代から近代の生活史を身体というもっとも身近なものを通じて考えていきます。

4月10日(金) 江戸時代・近代の女性視覚障害者~瞽女

5月22日(金) 江戸時代の男性視覚障害者~座頭
*講師の都合により第4金曜日に変更

6月12日(金) 感染症の歴史1 梅毒

7月10日(金) 感染症の歴史2 結核

8月14日(金) なし

9月11日(金) 感染症の歴史3 麻疹

西川 明彦 (客員教授) 工芸学

第3金曜日 10:30~12:00 Z308講義室 (持参すべきもの: できれば中公新書「正倉院のしごと」無でも可)

内容紹介: 正倉院宝物は1300歳近くの齢を重ねた超後期高齢者で、正倉院のスタッフは介護士や検査技師、ホームドクターのような“しごと”を担います。ただし、形のあるモノを守るだけでなく、奈良時代から続く「勅封」や「曝涼」といった形のないコトを継承することも重要な“しごと”です。その取り組みについて、歴史をふり返りながら概観し、今後の課題を抽出して解説します。

アピール: 「しごと(仕事)」と聞くと、職業のことが思い浮かびますが、正倉院という場所で、人がしてきたこと・していること・しなくてはならないこと、それに正倉院という場所が、人や正倉院宝物に作用したことも“しごと”に含めています。

4月17日(金) 正倉院とは(正倉院概説1)

5月15日(金) 正倉院とは(正倉院概説2)

6月19日(金) 正倉院をまもる(保存1)

7月17日(金) 正倉院をまもる(保存2)

8月21日(金) 宝物をなおす(修理1)

9月18日(金) 宝物をなおす(修理2)

岡本 彰夫 (客員教授) 神道学

第4金曜日 14:00~15:30 Z308講義室 (持参すべきもの: なし)

内容紹介: 今年は秀長さんで郡山が注目されていますが、秀長も関与したと伝えられる赤膚焼や、同じく郡山の著名な人物として柳里恭についても考究してみたいと思います。

アピール: なるべく珍しい資料をお持ちしてご披露出来たらなああと、考えております。

4月24日(金) 赤膚焼の歴史と作品(I)

5月22日(金) 赤膚焼の歴史と作品(II)

6月12日(金) 柳里恭考
*講師の都合により第2金曜日に変更

7月24日(金) 人生の応援歌「道歌」を学ぶ(I)

8月21日(金) 人生の応援歌「道歌」を学ぶ(II)
*講師の都合により第3金曜日に変更

9月25日(金) 人生の応援歌「道歌」を学ぶ(III)

山崎 祥子 (客員教授) 有機化学

第3土曜日 10:30~12:00 奈良国立大学機構第2会議室/Z308講義室 (持参すべきもの: 筆記用具)

内容紹介: 1学期は、食物、医薬品、繊維など身近な有機化合物、有機化学分野のノーベル賞、生物由来の天然有機化合物やプラスチックなどの合成有機化合物、有機合成のウェーラーから始まる最近までの歴史、有機化合物のかたちに関する立体化学、有機合成で用いられてきた鍵となる反応による炭素と炭素をつなぐ手法などを学びます。

アピール: 受講生の皆様のご要望にお応えして、ゼミナールを行います。お気軽にご参加ください。マクマリー有機化学、有機化学奥山格監修丸善、ポルハルト・ショア現代有機化学などが参考図書ですが、なくてもかまいません。

4月18日(土) 身近な有機化合物

5月16日(土) 有機化学とノーベル賞

6月20日(土) 天然有機化合物と合成有機化合物

7月18日(土) 有機合成の歴史

8月29日(土) 立体化学と鏡像異性体
*第3土曜日は閉所日のため第5土曜日に変更

9月19日(土) 炭素と炭素をつないで分子をつくる